

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	E 指定管理者事業
事務事業名	スポーツ施設等管理事業				事業番号	008-015
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ施設	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	
			有	取組の方向性	②気軽にできるスポーツの機会創出			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）			
			有	現状値	23.7%(2017年度)	目標値	50.0%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	健康寿命			
			有	現状値	男性：72.82年、女性：74.46年(2019年度)	目標値	男性：73.40年、女性：76.40年(2025年)	

2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン			
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	スポーツ基本法 地方自治法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	施設利用者	対象数	単位	
			2,982,927	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍・障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたるスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現をめざし、安全で快適なスポーツ環境を提供する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	○指定管理業務 ・施設の運営に関する業務（施設の貸出等） ・施設の維持管理に関する業務（保守点検等） ・自主事業に関する業務（スポーツ教室等） ・その他緊急時の対応等（災害時の対応等） ○堺市スポーツ施設情報システム（オーバス・スポーツシステム）管理業務 ・システムの円滑な運用を図り、施設の申込手続等、利用者の利便性の向上に努める。			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	各施設指定管理者			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者	人	目標値	2,025,000	3,368,000	3,434,000	3,510,000
		実績値	2,672,902	2,982,927		
		達成率	132%	89%		
11	当該指標を選定した理由	大浜体育館（大浜だいいしんアリーナ、だいいしん大浜武道館）、原池公園野球場（くろ寿司スタジアム堺）、J-GREEN堺などの大規模スポーツ施設の有効活用により、本市のスポーツの魅力創出及びスポーツへの関心や参加機運を醸成し、市内スポーツ施設の利用者数が増加することが、事業目的の達成に寄与するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	平成27年度～令和元年度の5年間の施設利用者数15,855,528人であったことから、令和3年度から7年度の5年間累計で100万人増加を目標としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和5年度には新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻ると想定した目標を新たに掲げることとした。 (単年度の目標値はそれぞれ4年度2,025千人、5年度3,638千人、6年度3,434千人、7年度3,510千人)。 対象施設：大浜体育館等（大浜公園野球場、大浜公園テニスコート、大浜公園相撲場、三宝公園野球場、浅香山公園野球場、土居川公園テニスコート）、金岡公園体育館等（金岡公園野球場、金岡公園テニスコート、金岡公園陸上競技場）、初芝体育館等（初芝野球場、初芝テニスコート、白鷺公園野球場、白鷺公園運動広場）、家原大池体育館等（みなと堺グリーンひろば）、鴨谷体育館等（鴨谷野球場、荒山テニスコート）、美原体育館等（美原多治井運動広場、美原みの池運動広場、美原さつき野運動広場、美原B & G 海洋センター）、原池公園体育館（原池公園スケートボードパーク、陶器スポーツ広場）、原池公園野球場、美原総合スポーツセンター、J-GREEN堺				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
12	オーバス登録者数	人	目標値	2,000	2,000	
		実績値	1,627	1,866		
		達成率	81%	93%		
	当該指標を選定した理由	オーバスシステムに登録することで、施設利用予約の利便性が向上し、施設の継続利用につなげることができるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	登録者数と施設利用者数は概ね比例するため。				

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	スポーツ施設等管理事業	事業番号	008-015
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費（a）	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費（a）	996,393	885,547	887,484	901,383	1,018,965
財源内訳					
国支出金	217,741	20,739	0		0
府支出金		0	0		0
市債		0	0		0
その他（スポーツ施設情報システム施設利用料収入等）	194,432	269,021	276,429	316,051	435,126
受益者負担金（使用料、手数料等）		0	0		0
一般財源	584,220	595,787	611,055	585,332	583,839
人件費（b）	38,900	38,900	44,100	44,100	51,300
年間経費（c）=（a）+（b）	1,035,293	924,447	931,584	945,483	1,070,265

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
			R5	決算	799,961	528,334		R5	決算	5,064	5,064
16	体育館等の管理運営	R6	予算	909,057	480,348		体育施設関連備品一式購入費	R6	予算	5,452	997
		R5	決算	41,512	0			R5	決算	5,287	5,287
	体育館等の管理運営（修繕費）	R6	予算	40,489	40,489		会計年度職員報酬・期末手当	R6	予算	5,095	5,095
		R5	決算	31,618	31,618			R5	決算	164	164
	除草・清掃業務、明ノ谷池管理業務、白鷺公園運動施設巡視等業務	R6	予算	34,618	34,618		高齢者健康増進事業関連経費	R6	予算	200	0
		R5	決算	7,920	7,920			R5	決算	1,565	1,565
	スポーツ施設情報システム使用料	R6	予算	7,920	7,920		キャッシュレス決済手数料	R6	予算	6,889	6,889
		R5	決算	4,654	4,654		その他（旅費、需用費、役務費など）	R5	決算	3,638	726
	業務端末機・街頭端末機借上料	R6	予算	3,432	3,432			R6	予算	5,813	4,051
		R5	決算								
		R6	予算								

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

①	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	施設利用者数	人	2,672,902	2,982,927
②	上記①にかかる年間経費	千円	885,547	901,383
③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	331	302
備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・大浜体育館（大浜だいしんアリーナ、だいしん大浜武道館）、原池公園野球場（くら寿司スタジアム堺）、J-GREEN堺などの大規模施設を中心に、全国規模の大会やトップレベルチームの公式戦などのほか、園地やスポーツ施設を一体的に活用した大規模イベントの開催により、利用者数が増加に転じ、一人当たりの経費が減少した。 ・今後も、スポーツ・運動を「みる」「する」機会の創出により利用者数を増加させ、費用対効果を高める。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・大浜体育館（大浜だいしんアリーナ、だいしん大浜武道館）、原池公園野球場（くら寿司スタジアム堺）、J-GREEN堺などの大規模施設を中心に、全国規模の大会やトップレベルチームの公式戦などのほか、園地やスポーツ施設を一体的に活用した大規模イベントの開催により、施設利用者数の増加につながった。 ・また、65歳以上の高齢者を対象にした体育館トレーニング室の初回講習料無料化や各種スポーツ教室等の実施により、市民の方の運動習慣の定着に寄与することができた。 ・今後も引き続き、スポーツ施設の魅力・情報発信の強化により、施設の有効活用を行い、あわせて幅広い世代、特に運動習慣がない子どもや、運動等を定期的に行う割合が低いビジネスパーソンや子育て世代に対して、スポーツを気軽に行える機会を創出するなど、市民の方のスポーツ・運動習慣の定着による健康増進をめざす。
----	---